

VG機輪 「打がまち紹介」 活動報告

氷室

日本書紀の仁徳天皇62年のところに、次のような話があります。

この年、天皇の異母兄の額田大中彦皇子が、鬮掛けたとき、山の上から遠くを眺めると何か一つ見えます。使者を遣わして見させますと、「あれは窟です」と報告しました。そこで土地の村長である方に聞かれます。



氷室の復元

「その野原の中にあるのは、なにを入れた室か」と。大山主は謹んで「氷室でございます」と答えますと、さらに、皇子は「それはどういう具合に収めてあるのだ、また一体何に使うのだ」大山主は説明します。「土を一丈(3m)以上掘り下げま

す。その上から草で覆いをいたします。下には厚く茅(ちかや)や荻(すずき)を敷いてその上に氷を置くのでございます。そうすると夏になっても溶けて消えることがございませぬ」

鬮掛野神社



参道は高速道路上

鬮掛野神社は、鬮掛(つげ)野(の)神社(じんじや)は、氷室地区の氏神神社です。鬮掛を「ツゲ」と読むのは鶏鳴が神託を「告げる」ことに由来するといわれ、北面の丘陵には鬮掛山(つげやま)古墳があり、4世紀前半の三島の王墓と考えられています。



鬮掛野神社の本殿

会員だより

宝庫の「まち」

宮田・氷室及び

今城塚の感想

5月16日は、参加者11名、JR撰津富田駅前から市バスで巡礼橋下車いたしました。下車直後小雨が降っておりましたが、我々一行は雨にもめげず先ず宮田町にある「春日神社」へ行きました。



春日神社の由緒書き碑

この春日神社は、宮田水利組合の充当金もなく、寄付金募集によることもなく、昭和55年6月に再建された社です。

神殿のそばには、高槻の古木に指定されているヒノキの大木の新緑が茂っていました。次に「宮田遺跡」では平安時代後期から鎌倉時

代にかけ、営まれた農村集落で屋敷跡からは椀・皿など出土しており、当時の生活が偲ばれる、集落遺跡ということであります。

現在では、住宅が立ち並んでおり、当時の範囲(エリア)を思い知る事はできませんでした。



はにわバルコニーにて
スタッフの会員の説明を聞く

次に「今城塚古墳」と「古代歴史館」では、「高槻市文化財スタッフの会」の方が、「はにわバルコニー」で迎えてくれ、埴輪祭祀場などを展望しながら今城塚古墳の説明を受け、高台からは古墳全体と埴輪公園の説明を、更には古代歴史館では、古墳時代の文化生活様式、出土品等の展示物を見学するとともに、館内の展示では、石棺に



けいぼうSキッチン

「古代歴史館」では、「高槻市文化財スタッフの会」の方が、「はにわバルコニー」で迎えてくれ、埴輪祭祀場などを展望しながら今城塚古墳の説明を受け、高台からは古墳全体と埴輪公園の説明を、更には古代歴史館では、古墳時代の文化生活様式、出土品等の展示物を見学するとともに、館内の展示では、石棺に

このような事から、JR高槻駅及びJR富田駅からのバスの便もよく、市バスで帰宅するようになりました。

記：松政徳次郎



郡家公民館

郡家すこやかテラスには、高槻市シニアクラブ連合会の事務所があり、和室からは、広い日本庭園を見る事もでき休息することも出来ました。隣には、郡家公民館もあります。



郡家すこやかテラス
(老人福祉センター)